

遠野市長記者懇談会(平成29年12月21日) 発表項目

■日時 平成29年12月21日(木) 11:00~12:00

■場所 市役所本庁舎 多目的大会議室

【発表項目】

1 (仮称)遠野スタイル総合力推進フォーラムの開催について (資料 No. 1)

2 平成29年遠野の10大ニュースの結果について (資料 No. 2)

3 遠野市観光推進協議会の設立について (資料 No. 3)

4 平成29年度遠野市SL停車場プロジェクト取組み実績について (資料 No. 4)

5 大府市への児童訪問団派遣について (資料 No. 5)

6 「第11回キャリア教育文部科学大臣表彰」受賞及び

「全国いじめ問題子供サミット」への参加について (資料 No. 6)

今後の主要行事、お知らせなど

- (1) 年末年始の観光施設等のイベント等について (お知らせ No. 1)
- (2) 平成30年遠野市消防出初式について (お知らせ No. 2)
- (3) 平成30年成人式「はたちのつどい」について (お知らせ No. 3)
- (4) 市民の舞台 遠野物語ファンタジー第43回公演「又吉のまた夢」について (別添チラシ)
- (5) 「遠野雪あそび in 遠野ふるさと村」の開催について (別添チラシ)
- (6) 「遠野学会」の開催について (別添チラシ)
- (7) 遠野市立博物館トークイベント「私と本との出会い」の開催について (別添チラシ)



遠野市記者発表資料
平成29年12月21日
経営企画部政策推進担当

(仮称)遠野スタイル総合力推進フォーラムの開催について

【発表の要旨】

「(仮称) 遠野スタイル総合力推進フォーラム」を開催します。

【発表の内容】

1 趣旨

オール遠野による総合力で第2次総合計画の共通優先方針の一つである「産業振興・雇用確保」に立ち向かうため、市政課題と今後の方向性について関係者の意識共有を図ることを目的に「(仮称) 遠野スタイル総合力推進フォーラム」を開催する。

また、併せて外部有識者による遠野市のまちづくり政策に対する検証報告をいただく。

2 主催

遠野スタイル総合力推進本部

3 内容

第1部 基調講演

講師 岩手大学長特別補佐 小野寺純治 (遠野市地域経営会議参与)

演題 仮) 遠野スタイルによる産業創成

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 岩手県立大学総合政策学部長 吉野英岐

(遠野市地域経営会議参与)

パネリスト 第1次・第2次・第3次産業団体代表 ほか

※ 外部有識者による遠野市まちづくり政策に対する検証報告
「遠野市政策研究会」により提言内容をまとめた本が出版される予定

4 日時

平成30年2月12日 (月・祝日) 午後1時30分から

5 場所

あえりあ遠野 交流ホール (遠野市新町1番10号)

【参考】 検証報告書の概要

- 持続可能なまちづくりのために
- 「遠野スタイル」のまちづくりの検証と展開
- 地域産業振興の新たな展開方向
- 東日本大震災の後方支援活動を生かしたまちづくり
- 「遠野スタイル」の新たな展開方向
 - ・子育て環境
 - ・中心市街地整備
 - ・総合計画に基づく主要プロジェクト

担当	経営企画部政策推進課（新田、佐々木） 電話 0198-62-2111（内線 810214）
----	--

進化まちづくり検証委員会による検証結果報告書

第1次検証委員会 平成22年2月～平成25年2月
テーマ「第三セクター等の検証」

第2次検証委員会 平成25年5月～平成27年7月
テーマ「地域コミュニティのあり方について」

遠野市進化まちづくり検証委員会「第三セクター等の検証結果報告書」

【概要版】

1 要旨

2月9日に遠野市進化まちづくり検証委員会がまとめた「第三セクター等の検証結果報告書」の概要について説明します。

同検証委員会は、第三セクター及び市の主要な関係団体 10 団体を対象に、各団体の役割を検証するとともに、団体相互の連携を進め地域の総合力を高めることを目的に市が設置した外部有識者委員会です。

2 主な提言概要

No.	提言項目	検証結果要旨
1	総括所見 (各団体の共通課題)	①経営計画の策定 ②団体の役割(事業)の再整理と統合 ③団体相互の連携 ④経営体としての確立 ⑤市の方針の明確化
2	第三セクター等に対する個別提言 (10 団体の検証)	①出資の引揚げ1 団体 ②抜本的見直し8 団体 ③一部見直し1 団体
3	全体提言 (各団体の連携のあり方や今後の進め方について提言)	①産業振興事業、観光振興事業、文化・交流事業、情報事業の4分野をグループ化し統合や有機的連携について検討 ②役員体制や人材確保・育成などの人的体制の充実 ③「遠野スタイルまちづくり会議(仮称)」を設置し検証委員会提言をフォロー ④前述の取組に対する市のリーダーシップの発揮
4	市審議会等の見直し	①見直し対象団体 257 団体内中改革実行団体 97 団体(実行率 37.7%) ■財政節減効果 年間 750 万円 ■事務削減効果 年間約 4,100 時間 ■削減委員数 255 人(1,085 人中)

3 遠野市進化まちづくり検証委員会検証結果報告概要

(1) 総括所見

No.	所見項目	主な所見概要
1	団体の現状を踏まえた目標設定に基づく経営計画の策定	■団体の設立目的と実際の事業目的に違いがあるため身の丈にあった経営計画が必要
2	団体の役割の明確化による再整理	■重複・競合している各団体の役割の整理
3	団体相互の統合・連携の必要性	■事業が重複・競合している法人の統合や連携
4	経営体としての確立	■経営体として存続するための役員の実質や人材の確保と育成
5	市の方針の明確化	■明確な市の方針に基づく各団体との協働

(2) 第三セクター等に対する個別提言

No.	第三セクターの名称	検証結果	主な提言概要
1	(株)遠野	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■市の観光振興の中核団体として役割を再度検討 ■財政負担を市に依存しすぎないルールの確立 ■取締役会の見直しと経営戦略の策定
2	(株)遠野テレビ	一部見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な経営戦略の策定 ■市民に身近なメディア事業の確立(自主事業の確立)
3	(株)リンデンバウム遠野	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■森林のくに遠野・協同機構の中核的役割としての検証 ■中期計画の検証と具体的な経営戦略の明確化
4	(社)遠野ふるさと公社	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■株式会社の移行と産業振興の中核団体としての確立 ■各部門の収益構造の見直しと詳細な収支計画の策定
5	(社)遠野市畜産振興公社	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■競走馬部門の完全民営化 ■馬事文化にこだわったまちづくり ■放牧部の増頭対策と環境整備
6	遠野アドホック(株)	出資の引揚げ	<ul style="list-style-type: none"> ■中心市街地活性化の役割の発展的見直し ■市の出資の引揚げ等踏み込んだ現実的な検討
7	(社)宮守わさびバイオテクノロジー公社	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■わさび振興計画の策定と生産者の意欲を喚起 ■不可能な場合は市の関与を廃止
8	(財)遠野市教育文化振興財団	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■文化、交流、国際化に着目し国際交流協会と統合検討
9	(財)遠野国際交流協会	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■文化、交流、国際化に着目し教育文化振興財団と統合検討
10	遠野市観光協会	抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■観光振興の中核的機能として再編すべき ■観光関係団体との連携と会員のメリットの明確化

(3) 全体提言(骨子)

別紙1「有機的連携に基づいた各グループの方向性」及び別紙2「各団体相互の有機的連携図」を参照願います。

(4) 審議会、関係機関・団体、市参加協議会等の見直しについて

スリムでかつ組織横断的に総合力が発揮できる市役所組織を目指し、遠野市進化まちづくり検証委員会の意見を踏まえ市が見直しを行いました。

区 分	団体数	対象団体(A)	見 直 し 提 案								現状のとおり
			見直し	兼任	休止	統合廃止	廃止(脱退)	検討継続	合計(B)	実行率(%)	
各種審議会	77	77	2	3	1	5	18	(0)	29 (29)	37.7 (37.7)	48
関係団体	240	102	19	0	0	6	7	(19)	32 (51)	31.4 (50.0)	70
協議会等	190	78	8	0	0	4	24	(17)	36 (53)	46.2 (67.9)	42
計	507	257	29	3	1	15	49	(36)	97 (133)	37.7 (51.8)	160

【効果】

- 財政節減効果 約 750 万円/年
- 事務削減効果 約 4,100 時間/年
- 削減委員数 255 人(1,085 人中)

注：実行率は、対象団体(A)に対する見直し提案団体数(B)の割合を示す百分率となります。

注：()は検討を継続する団体数となります。

2 遠野市方針

検証結果報告を真摯に受け止め、次により進めます。

(1) 専任部署の設置

市役所内に専任部署を設置し第三セクター等の改革を進めます。

(2) 当面の日程

日 程	内 容	説 明
2月14日(月)	遠野市議会議員全員協議会	市方針の説明
2月中旬	市方針の発表	記者発表
2月下旬	検証10団体説明会	改革方針の説明と協力依頼
5月頃	遠野スタイルまちづくり会議(仮称)設置	検証委員会提言をフォロー

有機的連携に基づいた各グループの方向性

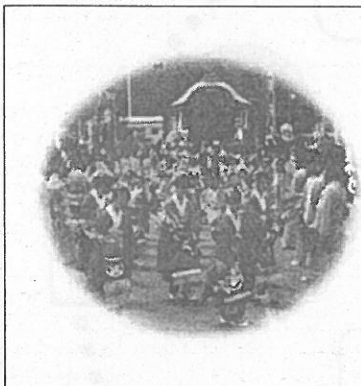
1 産業振興事業グループ



(社)遠野市畜産振興公社、(株)リンデンバウム遠野、(社)宮守わさびバイオテクノロジー公社を「産業振興分野」としてグループ化し、生産基盤の整備、流通・市場の確保を図るとともに、遠野ブランドの構築を含めた第六次産業の推進を実効的に進めるべきである。



2 観光振興事業グループ



市の観光振興の将来像をそれぞれの関係機関・団体が共有し、個々の団体がどのような役割を担うのか、これを明確にする必要がある。

(株)遠野、(社)遠野ふるさと公社、遠野アドホック(株)、遠野市観光協会とそれぞれ検証を行ってきたが、観光振興に関する将来像の共有と、関係団体の役割が整理されなければ、市の観光振興の仕組みが成立しないことから、これを早急に進めるべきである。

3 文化・交流(人づくり)事業グループ

文化・交流分野については、「遠野固有の文化の特定とこれを担う人材の育成」と「遠野市に來訪する外国人の受け入れ体制の整備」に着目した協会運営を目指すこととし、(財)遠野市教育文化振興財団と(財)遠野国際交流協会の統合について検討するよう提言させていただいた。



両財団の独立性は否定するものではないが、市と財団の役割を明確にした上で、現実的な手立てを講ずるべきである。

4 情報事業グループ




情報分野については、(株)遠野テレビの機能を積極的に発揮すべきであり、市の産業振興、観光振興、文化・交流振興の各分野の総合的な情報発信メディアとしての活躍に期待したい。




各団体相互の有機的連携図

■有機的連携 ■柔軟な人事交流(人材育成) ■関係団体との連携強化



【関係団体】

- 遠野市
- JAいわて花巻
- 県遠野農林振興センター
- 県遠野普及サブセンター
- 東南部農業共済組合家畜診療センター
- 森林のくに遠野・協同機構
- 生産者



【産業振興グループ】

- ①(社)遠野市畜産振興公社
- ②(株)リンデンバウム遠野
- ③(社)宮守わさびバイオテクノロジー公社



- 【有機的連携に係る課題】
- 1 経営計画の策定
 - 2 団体の役割の明確化による再整理
 - 3 団体相互の統合・連携
 - 4 組織経営体としての確立
 - 5 市の方針の明確化

有機的連携

有機的連携

【観光振興グループ】


- ①(株)遠野
- ②(社)遠野ふるさと公社
- ③ 遠野アドホック(株)
- ④ 遠野市観光協会

【関係団体】

- 遠野市
- 各第三セクター等
- 市民参画

【情報事業グループ】


- ①(株)遠野テレビ



有機的連携

【関係団体】

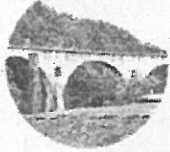
- 遠野市
- 遠野商工会
- 各宿泊施設
- 各商店街
- 観光関連業者
- 民間観光施設
- NPO 団体
- 市民参画



【関係団体】

- 遠野市
- 文化・芸術団体
- NPO 団体
- 市民参画

有機的連携

【文化・交流(人づくり)事業グループ】

- ①(財)遠野市教育文化振興財団
- ②(財)遠野国際交流協会

【遠野市進化まちづくり検証委員会構成員】

No.	氏名	区分	役職等
1	やまだ はるよし 山田 晴義	学識 地域経営	宮城大学名誉教授 岩手県立大学名誉教授 宮城大学地域連携センター地域振興事業部アドバイザー
2	あおき みのる 青木 稔	行政 友好都市	武蔵野市子ども家庭部長部長
3	あきやま のぶかつ 秋山 信勝	会計	有限会社秋山会計事務所代表取締役
4	おのでら じゅんじ 小野寺 純治	学識	岩手大学地域連携推進センター教授
5	くらはら むねたか 倉原 宗孝	学識	岩手県立大学総合政策学部教授
6	こうりき みゆき 高力 美由紀	学識	宮城大学事業構想学部准教授
7	くどう ようこ 工藤 洋子	企業	前(株)ジョイス監査役会事務局
8	すずき たかしげ 鈴木 高繁	企業	有限会社K・C・S 代表取締役

【遠野市進化まちづくり検証委員会の経過】

— 会議開催時間 延べ33時間 —

時期	項目	内容
2月10日	第1回検証委員会	遠野市勢概要 市地域経営改革指針について説明
3月15日	第2回検証委員会	(株)遠野、遠野テレビ、リンデンバウム遠野の検証
3月25日	第3回検証委員会	リンデンバウム遠野、遠野ふるさと公社、遠野市畜産振興公社の検証
4月15日	第4回検証委員会	遠野アドホック、遠野市畜産振興公社の検証
5月20日	第5回検証委員会	遠野市畜産振興公社、宮守わさびバイオテクノロジー公社の検証
6月1日	遠野馬の里現地踏査	遠野市畜産振興公社遠野馬の里現地踏査
6月23日	第6回検証委員会	遠野市教育文化振興財団、遠野国際交流協会の検証
7月28日	第7回検証委員会	遠野市観光協会の検証
7月28日	遠野馬の里に関する 緊急中間報告	遠野馬の里競走馬部門の完全民営化等について緊急報告
10月5日	第8回検証委員会	提言のまとめ作業(遠野スタイル青年会議の意見も反映)
11月15日	第9回検証委員会	提言のまとめ作業(遠野スタイル青年会議の意見も反映) 全体提言のまとめを今後の作業として確認
11月15日 ～2月1日	メール等による各委員の 意見調整	全体提言策定に係る意見集約・調整期間 市委員会協議会等の見直し内容に係る意見を集約
1月12日	委員長協議	検証委員会報告書報告書及び市審議会、協議会等の見直しに係る委員長協議
2月9日	第10回検証委員会	検証委員会報告書確認 市審議会・関係団体・市参加協議会等の見直し方針確認

平成 27 年 7 月 29 日

遠野市長 本 田 敏 秋 様

第二次遠野市進化まちづくり検証委員会
委員長 山 田 晴 義

「地域コミュニティのあり方」に係る最終提言について

本委員会では、今後進むであろう少子高齢化、人口減少等の地域実態に即したコミュニティへの転換を図るため、平成 25 年 5 月 30 日の設置以降、これまでに計 7 回の委員会を開催し、地域コミュニティの現状などを分析し、検証と議論を重ねて参りました。

これまでの検証で、遠野市では早い時期から地域コミュニティの重要性を感じ、地域の特色を生かしたまちづくりを進めてきましたが、一方では行政が主導してきた面が大きく、長年の地域づくりの仕組みが硬直化していると考えられます。

さらに、地域の人口減少やニーズの多様化により、地域づくりの担い手不足による住民負担が増しているなど、地域づくりの新たなシステムの構築が必要と感じました。

この度、遠野市における今後の地域コミュニティのあり方について、別紙のとおりまとめましたので、これにより最終提言とさせていただきます。

なお、参考資料として、平成 26 年 8 月 5 日に報告しました『「地域コミュニティのあり方」に係る中間総括について』を添付いたします。

【最終提言】

1 地域住民が主体となるコミュニティの実現

(1) 新たな協働システムの構築

地域の運営課題解決にあたっては、地域運営・自治の原則に基づき、地域住民・住民組織と行政がそれぞれの役割を果たすとともに、個別には解決が難しい課題については、多様な主体が協働でこれに取り組む必要がある。今回の検証で、地域づくり活動においては、行政の関与によるところが多く、そのことに地域住民も依存してきたという現状が浮かび上がった。このことは、これまでの地域づくり活動が効率的に行われてきた反面、地域の課題に対応する柔軟性を欠き、このままでは地域の継承や持続可能性が阻害されることが危惧される。

地域の特性を生かし、かつ持続可能な地域コミュニティの実現を図るためには、その地域の課題について住民同士が自ら話し合い、解決策を考え、実践に移すといった一連のプロセスの共有が第一であることを住民と行政が互いに理解し、そのプロセスの構築につながるきっかけとなる意見交換の場や勉強会などの機会の設定を行政が担うなど、新たな協働システムが必要である。

(2) 地域づくり計画の策定と事業実施の体制づくり

平成27年時点で遠野市内に120ある自治会は、上記の過程を通して、地域にどのような課題があり、どう解決していくかを示した地域づくり計画（以下、「自治会計画」という。）を策定して、主体的な地域づくり活動を進める必要がある。

さらに、地区単位で必要な取り組みについては、地域づくり連絡協議会（以下、「地連協」という。）が自治会計画を取りまとめた地区の地域づくり計画（以下、「地区まちづくり計画」という。）を策定し、事業実施に必要な知識や技術をもった人材の発掘や育成を図るとともに、情報収集や財源確保などの支援に

努めるべきである。そのためには、自治会長や若い世代が中心となったまちづくりグループ、可能であればNPOや地元企業などの参画により、現状の地連協の役割と体制を根本的に見直す必要がある。場合によっては「地連協」という名称の変更、あるいは地連協に代わる新たな地域づくり団体の結成など、各地区の実情にあわせた事業実施体制を新たにスタートさせるべきである。

この新たな体制への転換については、自治会同様、地域の特性を生かしたコミュニティの実現に向け、地区単位の課題解決を最優先とすることを、住民と行政は念頭に入れながら、その体制づくりを早急にすすめられたい。

また、必要によっては、地区を越えた広域的な事業を行うなど、形態や手法にとらわれない柔軟な活動も展開されるような環境を整えることが有効であると考えられる。

(3) 地域づくりの担い手の養成

地域課題は地域住民の手で解決を図ることが基本であり、また地域づくり活動における人材は重要な要素の一つである。自治会計画、あるいは地区まちづくり計画の策定に係る話し合いに、男女双方の数多くの地域住民の参画を促し、その活動の必要性や目的の共通認識を図ることにより、地域の担い手が生まれてくると考えられる。

一方、行政は、その必要に応じ、NPOや民間団体などを活用した研修や活動の実践機会を設けるなどの支援を講じるべきである。

また、郷土芸能や伝統行事の継承などのためには、市内外から人材を募り、育成を図ることも考えられる。

2 人口減少を見据えた地域コミュニティの維持

(1) 安心して安全に暮らせる地域づくりの推進

地域コミュニティは、地域住民の安全と、安心な暮らしを保つ役割も担ってきた。今後の少子高齢化・人口減少が進むことによる共助機能の低下を補完するため、地区センターを拠点として保健師や民生委員、社会福祉協議会、消防団などが、地域で見守りが必要な住民に関する情報を日頃から共有する仕組みを構築し、地域福祉の向上、あるいは防災活動の充実を図ることが求められる。

(2) 自治会と行政区の関係の整理

住民組織である自治会と、行政が昭和31年以降に住民との効率的な連絡のために設定した90の行政区の役割が混在し、役員の兼務などによる住民の負担が増していることが見受けられる。

行政は、自治会と行政区の関係を整理しながら、今後の自治会との連絡調整のあり方や依頼業務の見直し、あるいは地域住民が役員を担う団体の再編を図るなど、住民の負担軽減と、住民が地域づくりに専念できる効率的な環境の整備を図るべきである。

(3) 行政区の再編

行政区については、適正かつ効率的な規模、あるいは地域事情などを勘案し、統合するなどの再編が必要である。但し、長年の枠組みを変えることになるので、地域住民の合意形成を図ることは必要不可欠である。

なお、行政区は、その機能を自治会活動の中に位置づけることにより、将来的には行政区を廃止し、自治会と行政との連絡体制の構築といった新たな仕組みに改める方向で進めるべきである。

3 地域コミュニティを支える行政の役割の見直し

(1) 地区センターの役割と体制の見直し

地区センターは、旧1町10カ村における住民自治の支援拠点として位置づけ、自治会計画、あるいは地区まちづくり計画策定の支援、計画に基づいた地域づくり活動に係る支援策の検討を図るなど、地域運営・自治の原則に基づいた役割に改めるべきである。さらに、上記2(1)の地域福祉の向上・防災機能等の充実といった、地域住民が安全に、安心して生活できる環境づくりに軸足を移していくべきである。

このような地区センター機能の見直しを図るためには、必要に応じ、現行の職員体制を改めるとともに、地域の自立や活性化のために平成23年8月より配置している遠野市地域活動専門員の長期的な任用、市外の人材の活用、あるいは地元在住の市職員のサポート体制の構築や地域活動専門員の幅広い活動などといった新たな仕組みも考えられる。

(2) 市民センターの位置づけ

市民センターは、地域自治の推進・地域コミュニティ活性化の推進と支援の中核拠点であるべきである。これを行政の最前線で受け止めるセンターとしての役割を担い、「地域づくり行政」に軸足を置いた組織体制への移行などが考えられる。その際、「地域づくり行政」の担い手として、(一財)遠野市教育文化振興財団等が担うことも検討されたい。

そして、各地区まちづくり計画に基づく事業実施に必要な情報の提供、NPOや市民活動組織などと連携したマンパワーの確保、一括交付金などといった効率的かつ効果的な財政支援など、各地区の地域づくりに対応した多様な支援策を講じていくべきである。

また、各地区まちづくり計画は、地域の特性や資源を生かし、市民が主体性を持ち、自分たちのまちをより良くしようと行動するといった遠野市のまちづ

くりの基本理念である「遠野スタイル」を担っていくものとして、それらの実践のための住民参画の啓発を図っていくことも必要である。

4. まとめ

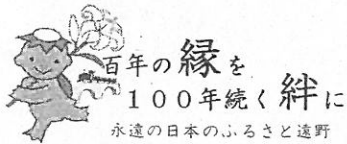
この最終提言は、すべてを速やかに、かつ全市一斉に実行せよというものではない。住民と行政がよく話し合い、考え合いながら、実現に向けたプロセスを作り上げることが必要である。

本委員会では、7回の会議のほかに事例発表会や現地視察会を行ったが、地域づくり活動の先頭に立つ自治会長や地連協役員との意見交換などを通じて、これまでの取組みの中でも光るものが数多くあったと見受けられた。

しかし、すべてに当てはまるわけではないが、これまでの地域づくり活動が行政主導によって推進されてきたことは否めない。この現状から脱却し、自治会、あるいは地連協などが自らの地域を考え、話し合い、活動していくことが、真の地域づくりであり、地域コミュニティーのあるべき姿であるといえる。

遠野市は約40年前に、全国に先駆けて「カントリーパーク構想」に基づき、特色ある地域づくりなどを一体的に取り組んできた実績があることから、今回の提言を踏まえ、「遠野スタイル」による地域づくりの新たなステージの実現に向け、住民と行政が力を合わせ、その仕組みづくりに取り組まれない。

むすびに、この最終提言により、少子高齢化、人口減少等の地域実態に即したまちづくり手法の転換が図られるとともに、「永遠の日本のふるさと遠野」の実現の一助となれば幸いである。



遠野市記者発表資料
平成 29 年 12 月 21 日
経営企画部政策推進担当

平成29年遠野の10大ニュースの結果について

【発表の要旨】

平成 29 年遠野の 10 大ニュースの結果をお知らせします。

応募総数 1527 票(509 人から 38 項目)

順位	項目	票数
1	市役所本庁舎が待望の開庁	359
2	遠野高サッカー部が大活躍 (全国高校サッカー選手権大会 16 強、同県予選5年連続優勝)	317
3	新遠野市誕生後初の選挙戦を制し、本田氏が4期連続遠野市長に	206
4	県農業クラブ連盟大会で遠野緑峰高が4部門で最優秀賞	84
5	米国チャタヌーガ市と姉妹都市に	60
6	遠野運動公園のわんぱく広場がリニューアルオープン	56
7	道の駅みやもり(mm1)にSL銀河ステーションが誕生	54
8	伊能嘉矩生誕 150 年。国立台湾大学図書館と文化交流協定を締結	53
9	遠野ふるさと村来場者 100 万人達成	49
10	IBCラジオ遠野FM開局	41

※参考（応募状況詳細）

町名	人数
遠野	92人
綾織	22人
小友	11人
附馬牛	28人
松崎	68人
土淵	83人
青笹	77人
上郷	34人
宮守	70人
市外	18人
未記入	6人
合計	509人

年代区分	人数
10代未満	5人
10代	40人
20代	33人
30代	35人
40代	65人
50代	68人
60代	123人
70代	80人
80代以上	48人
不明	12人
合計	509人

応募方法	人数
応募箱等	483人
郵送	12人
ファクス	5人
メール	9人
合計	509人

担当 経営企画部政策推進担当（菊池・及川）
電話 0198-62-2111（内線 217）



遠野市記者発表資料
平成29年12月21日
産業振興部商工観光課

遠野市観光推進協議会の設立について

【発表の要旨】

新たな観光推進体制構築と地域経済が潤う仕組みづくりを目指すため「遠野市観光推進協議会」が設立されましたのでお知らせします。

【発表の内容】

本市の新たな観光推進体制構築と地域経済が潤う仕組みづくりを目指すため「遠野市観光推進協議会」が設立された。

観光関係機関・団体の役割分担を明確にさせ、来年度から3年間の観光推進アクションプランを策定し、その進行管理を行ないながら、取組の「見える化」を図る。

1 構成団体

【構成団体】

- 1 一般社団法人遠野市観光協会
- 2 一般社団法人遠野ふるさと公社
- 3 株式会社遠野
- 4 柏木平レイクリゾート株式会社
- 5 一般財団法人遠野市教育文化振興財団
- 6 一般社団法人遠野市畜産振興公社
- 7 岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合遠野支部
- 8 認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク
- 9 花巻農業協同組合
- 10 遠野交通株式会社
- 11 遠野商工会
- 12 遠野市

2 役員

【役員】

会長	一般社団法人遠野ふるさと公社	理事長	本田 敏秋
副会長（2名）	一般社団法人遠野市観光協会	会長	三浦 芳昌
	株式会社遠野	代表取締役	佐々木弘志
監事（2名）	認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク	会長	菊池 新一
	花巻農業協同組合	統括理事	菅原 一雄



3 今年度の活動計画

(1) 戦略会議の開催

ア 開催 毎月第3水曜日に開催

イ 内容

個別マーケット毎に顧客を細分化した事業計画づくり

- ・マーケット毎に責任者を置き、プロジェクトチームを結成。
- ・マーケット毎に目標を設定し、客数と客単価向上に向けた計画を策定。
- ・データ分析し、戦略を考える。
- ・計画の実践とフィードバックを繰り返す。
- ・前月の入込み状況や取組実績を分析し、今後の戦略を協議する。

(2) 遠野市観光推進アクションプラン策定

ア 第2次遠野市総合計画に基づき、戦略会議で策定したマーケット毎の計画を積み上げ、オール遠野での観光推進アクションプランを3月までの策定に取り組む。

イ 来年3月に「第2回オール遠野で観光まちづくり推進セミナー2017」を開催し、アクションプランの内容について広く周知し、プランの「見える化」を図る。

(3) マーケティング調査

ア 内容 冬期間の来訪者のニーズ・動向調査し、集計・分析を行い、情報発信、戦略会議の協議資料として活用する。

イ 時期 平成30年1月（予定）

(4) 春のイベント情報発信

今までバラバラな情報発信となっていたことから、四季で括りトータル的な情報発信について協議を重ねるとともに、夏の情報発信についても協議を始める。

4 今後の展望等

現在のところ観光施設や宿泊施設の運営者、プロモーション・イベント等の実施者が多岐にわたるため、市内の観光全体のマネジメントする組織が不在となっている。

そのため、協議会ではお互いの役割分担を行ないながら一体的に活動に取り組み、将来的には、来訪者をマーケティングし、ターゲットを捉え戦略的に情報発信やコンテンツ開発をするとともに、市内観光関係機関・団体の司令塔となる組織設立へ向け様々な取組を行う。

担当

産業振興部商工観光課(菊池功幸)

電話 0198-62-2111 (内線 315)



遠野市記者発表資料
平成29年12月21日
産業振興部SL停車場PJ推進室

平成29年度遠野市SL停車場プロジェクト取組み実績について

【発表の要旨】

遠野市では、「SL 銀河」の運転にあわせ遠野駅、宮守駅でのお出迎え、無料昔話披露、郷土芸能披露などSL 銀河乗降客やSL 見学者へのおもてなしに加え、遊びながら市内を巡るスタンプラリー「遠野で妖怪を探せ」を開催しました。

遠野市SL 停車場プロジェクトの取組み実績をお知らせします。

【発表の内容】

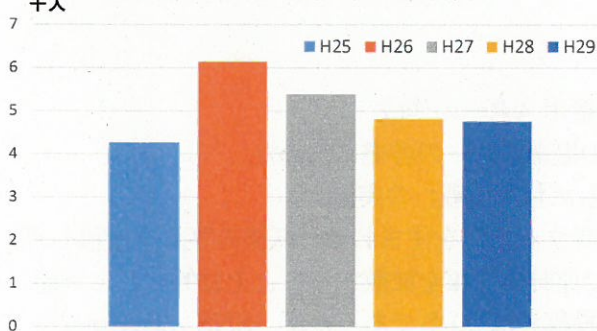
1 遠野駅周辺と宮守駅周辺の施設入込状況

※SL 銀河の運転日（土日等）の比較

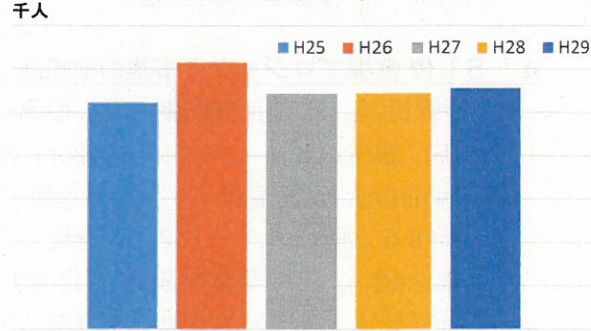
（単位：人）

施設名 月（回）	旅の蔵遠野（遠野市観光協会）			道の駅みやもり（めがね橋直売所）		
	平成29年	平成28年	前年対比	平成29年	平成28年	前年対比
4月（2回）	323	198	163.1%	3,695	2,955	125.0%
5月（10回）	1,276	1,068	119.5%	15,970	14,175	112.7%
6月（8回）	773	641	120.6%	10,930	9,435	115.8%
7月（10回）	871	1,024	85.1%	10,645	11,125	95.7%
8月（10回）	1,506	1,532	98.3%	14,325	12,950	110.6%
合計	4,749	4,463	106.4%	55,565	50,640	109.7%

千人 観光協会入込数の推移（4-8合計）



千人 めがね橋直売所入込数推移（4-8合計）



※平成28年は、9月、11月の運転がなく、10月の運転が3回であったことから、4月から8月の合計で比較している。また各月、運転回数が同じになるように調整を行っている。

平成29年は、遠野駅周辺の施設入込数は前年をやや上回っている。運転のなかった平成25年と比較すると入込が多く、「SL 銀河」の利用客が立ち寄っている。めがね橋の近くにある「道の駅みやもり」（めがね橋直売所）は前年をやや上回る利用客があり、めがね橋を通過する「SL 銀河」を見学する人たちが立ち寄る場所として定着している。

2 4月から10月までの「SL銀河」おもてなし対応（SL運転回数53回）

(1) 遠野駅

- ・郷土芸能披露(13回)でのお出迎えの他、横断幕でのお出迎え・お見送り、臨時観光案内の設置をし、歓迎及び市内回遊に努めた。
- ・遠野語り部の会による昔話無料披露を行い、131人(27回開催)が来場した。
- ・市内保育園、幼稚園の年長組による座敷わらし隊に延べ70人が参加し、7月から8月まで18回お出迎えを行い、好評を得た。



(2) 宮守駅

- ・宮守駅ホームでカントリーダンスを披露(6回)し、賑やかなお出迎えを行った。



3 連携イベント

- (1) 抹茶を振る舞うおもてなし「おもてなし茶会」を、7月2日、9月30日の2回開催し、「SL銀河」乗車客や一般の観光客に振る舞い、それぞれ250人以上の来場があり、大いに賑わった。
- (2) 遠野市畜産公社による「馬とSLの併走」が、6月17日に「いわて二日町駅」付近で開催され、「SL銀河」乗車客に喜んでいただいた。
- (3) 「SL銀河」運転初日(4月29日)は郷土芸能のほか、駅前広場で馬の白雪号との記念撮影会など、家族で馬との触れ合いを楽しんでいた。
- (4) 「ねまるべ遠野」、「バケツでジンギスカン大会」が駅前広場で6月11日に開催され、多くの人がジンギスカンを囲んで味わっていただいた。
- (5) 遠野馬っこ王国ライディングクラブによる「まちなか馬車運行」が7月から8月の土日に運行され、遠野駅を出発しおよそ45分間馬車に揺られながら遠野市街を散策した。
- (6) 市内団体(遠野市観光ガイド、遠野商工会女性部、着物を楽しむ会)と連携し、土曜日を原則として宮守駅から遠野駅の間、SL銀河車内で遠野の観光情報を提供した(回数23回)。



4 SL停車場プロジェクト事業の取組み

- (1) 遠野探訪、SL銀河運転案内及び撮影マナー掲載ポスターの作成
 - ・「SL銀河」ビュースポットの紹介、SL銀河の撮影マナーの啓発に努めた。
- (2) 市内回遊、遠野宣伝イベント「遠野で妖怪ともだち大作戦」の実施
 - ・市内5か所にスマートフォンを使うことで出現する妖怪を住まわせ、妖怪の写真を投稿し点数を競い、この写真をSNSで発信することで遠野の情報を拡散することを目的として「遠野で妖怪ともだち大作戦」を実施した。写真投稿者は50名であったが、SNS(Twitter、facebook)のフォロワーが約2,000人となり情報発信の大きな力となった。



(3) 市内回遊イベント、スタンプラリー「遠野で妖怪を探せ」の実施

- ・市内 10 施設に妖怪を配置し、妖怪を捕まえた点数に応じてプレゼントに応募できるスタンプラリーを今年も 4 月 29 日から 11 月 30 日にわたり実施した。
- ・応募総数は 1,589 件(前年 1,688 件)、施設への立ち寄りのべ 7,651 件 (前年 8,027 件) となり、市内回遊の効果があつた。
- ・応募用紙から家族やグループで参加している方々が多く見られた。

(4) 観光キャラバン・旅行会社訪問営業実施

- ・さいたま市で行われた「おおみや鉄道ふれあいフェア」に参加し、「SL 銀河」の宣伝と遠野の観光宣伝を行った (5 月 27 日)
- ・(一社) 遠野市観光協会、(一社) 遠野ふるさと公社、(株) 遠野と連携して旅行会社への訪問営業を行い、遠野への誘客に努めた。

函館・札幌方面への訪問営業 (7 月 3 日～5 日)

東京方面への訪問営業 (8 月 23 日～25 日)

宮城県内旅行エージェント訪問営業 (10 月 17 日～18 日)

名古屋・大阪・京都方面への訪問営業 (11 月 8 日～10 日)

青森・秋田旅行エージェント訪問営業 (11 月 28 日～30 日)

3 今後の予定

(1) 鉄道フェスタ in 遠野 2018

期日：平成 30 年 1 月 20 日 (土)・21 日 (日)

会場：遠野市民センター 中ホール

時間：20 日 10:00～17:00

21 日 10:00～15:00

料金：無料

内容：蒸気機関車、ローカル列車、各新幹線などたくさんの鉄道模型が集まり、会場に設置したレールの上を快走します。また、会場内を暗くして、真夜中を走る風景を再現する「夜間走行」も随時行いますので、子供から大人まで楽しめる内容です。

担当	産業振興部SL停車場PJ推進室 (佐藤) 電話 0198-62-2111 (内線 316)
----	--

大府市児童交流10周年記念事業 大府市への児童訪問団派遣について

【発表の要旨】

毎年8月に友好都市愛知県大府市の児童を受け入れ、遠野市の児童との交流を深めるとともに、遠野市の魅力を体験してもらう交流事業を行っています。

今年度で交流事業が10周年を迎えたことを記念して、遠野市の児童23人を大府市へ派遣します。

【発表の内容】

1 事業の目的

学校を離れ、友好都市愛知県大府市の児童や市民との交流を通して、お互いの市について理解を深めるとともに、豊かな人間性や社会性をはじめ、様々な力を育む。

2 日程、場所等

- (1) 日程 平成30年1月11日（木）～13日（土）
- (2) 派遣児童 23人（引率 教職員及び教育委員会事務局職員 5人）
- (3) 主な行程
 - 11日（木）…大府市役所にて歓迎式
 - 12日（金）…大府市立神田小学校との交流、至学館大学レスリング部練習見学、大府市周辺施設見学（歴史民俗資料館、大倉公園など）
 - 13日（土）…新美南吉記念館見学

3 （参考）交流の経緯

- ・ 大府市との児童交流は、平成19年8月の大府市スポーツ少年団設立40周年記念事業に、遠野市のスポーツ少年団25人が大府市へ招待を受けたことが始まりです。
- ・ 翌年8月に大府市の児童20人が遠野市を訪れ、遠野市の児童との交流を深め、遠野の夏を満喫しました。以降、毎年20人ずつ遠野へ訪れる恒例行事となり、今年までに200人の児童が遠野市を訪問しています。



今年度の大府市児童受入れの様子
 （遠野小学校との給食交流）



「第11回キャリア教育文部科学大臣表彰」受賞及び 「全国いじめ問題子供サミット」への参加について

【発表の要旨】

遠野中学校が、「第11回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞することとなりました。

また、文部科学省主催の「平成29年度 全国いじめ問題子供サミット」に、岩手県代表として遠野市立中学校3校の生徒が参加することとなりましたので、併せてお知らせします。

【発表の内容】

1 「キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」について

(1) 表彰の趣旨等

平成18年度から、キャリア教育（子供たちの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育）の充実発展に尽力し顕著な功績が認められた全国の教育委員会、学校及びPTA団体等に対して、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰を行っている。

第11回目の表彰となる今年度は、教育委員会の部11団体、学校の部101団体、PTA団体の部9団体の合計121団体が受賞した。

(2) 遠野中学校のキャリア教育に関する取組について

遠野中学校は、平成26年度から「遠野を盛り上げるプロジェクト」として、市内の文化施設、福祉施設、産直、商店街、農家などと連携し、遠野の産業や文化を活性化させるためのテーマを各自で設定、地域の方々と共同での計画実践、発信に取り組んでいる。また、この取組の推進のため、一般社団法人「遠野みらい創りカレッジ」と連携し、生徒のコミュニケーション力の向上を目指した学習も実施している。

参考：文部科学省ホームページ

(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/12/1399013.htm)

2 表彰式について

- (1) 日時 平成30年1月11日（木） 午前10時30分から
- (2) 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室
(東京都渋谷区代々木神園町3番1号)
- (3) 出席者 遠野中学校副校長 及川 博文

3 「平成29年度 全国いじめ問題子供サミット」について

(1) サミットの目的

子供たちの中でいじめに関する意識を高め、自らいじめの問題に取り組んでいくことが、いじめの未然防止、早期解決に効果的であることから、主体的な活動に積極的に取り組んだ地域や学校の児童生徒が集い、交流し、活動の中心となるリーダーを育成するとともに、全国各地で創意工夫を凝らした多様な取組を一層推進するため、文部科学省が開催している。

なお、平成27年度には、遠野西中学校の生徒のみなさんが、岩手県代表として同サミットに参加している。

(2) テーマ

私たちの考えや知恵を生かして、いじめ問題に立ち向かおう。

①身近ないじめへの対応の在り方について考えよう。

②いじめを訴えやすいアンケートを作成し、提案しよう。

(3) 開催日時等

平成30年1月20日（土） 午前10時30分から午後4時45分まで

午前：ポスターセッション

午後：グループ協議、全体交流

(4) 会場

文部科学省 東館3階講堂（東京都千代田区霞が関三丁目2番2号）

(5) 参加者（市立中学校3校の代表） ※引率 遠野東中学校教諭1人

遠野中学校 2年 上ノ澤 成 琉（かみのさわなる）さん

遠野東中学校 2年 阿 部 光沙季（あべみさき）さん

遠野西中学校 2年 米 田 麻 紘（よねたまひろ）さん

4 いじめ問題に対する各中学校の取組について

- 平成29年3月に、3校の生徒会によるリーダー交流会を開催し、「いじめをなくすアピールとその背景」についての学習会を行い、各校の取組を発表しながら、いじめに関する問題の解決策等について協議を深めた。
- 各校の春の生徒総会において、生徒会執行部がいじめの撲滅を訴えるとともに、全校生徒で「人にやさしいフレーズ」を考える活動を行った。
- 遠野東中学校では、平成29年3月に「いじめ撲滅に向けての取組」を採択し、生徒会執行部が中心となって、7月10日に「遠野東中学校人権宣言」を行い、多目的ホールに掲示、いじめ撲滅に向けての意識の高揚・啓発を図っている。

担当	教育委員会事務局 学校教育課(遠藤、楠美) 電話 0198-62-4412 (内線 284)
----	--

年末年始の観光施設等のイベント等について

【発表の要旨】

年末年始(12/29～1/3)の観光施設等の主なイベントや営業日程等をお知らせします。

(◎=期間中全日営業 △=期間中一部営業 ✕=期間中全日休業)

施設名 [問合せ電話番号] (営業時間)	営業日 状況	主なイベント等	
道の駅遠野風の丘 [62-0888] (8:30～17:30)	◎	12/29・30	年末感謝祭(年末大抽選会)
		1/1～3	新春感謝祭(新春福袋販売) 新春書初めコーナー
		1/2	新春福引抽選会
		▶ 休業情報	・「夢咲き茶屋」12/31～1/3 ・「漁師の魚屋」12/31 15時～1/3 ・「多田克彦アイスコーナー」1/1
道の駅みやもり・めがね橋直売所 [67-2929] (9:00～17:30)	△	1/2・3	初売り抽選会
		▶ 営業情報	12/31 15時まで、 休業情報 1/1
産直ともちゃん [68-2233] (8:30～17:00)	△	1/5・6	福袋販売
		▶ 営業情報	12/30 8:30～13:00 まで
		▶ 休業情報	12/31～1/4 ▶みずき飾り作り 1/11
サンQふる郷市場 [67-3399] (9:00～17:30)	△	▶ 営業情報	12/31 12時まで
		▶ 休業情報	1/1～1/3
夢産直かみごう [65-2100] (9:00～17:00)	△	12/28～30	年末大売出し(ココポイント5倍) お米を買うならこの日がチャンス!!
		1/4 11:00	新春餅まき(キッズ用餅まきタイムあり!) 福袋販売(産直ならではの福袋です。)
		▶ 休業情報	12/31～1/3
旅の蔵遠野観光交流センター [62-1333] (8:30～17:30)	◎	12/30 13:06～、15:43～	甘酒振舞い 場所:遠野駅
		12/31 11:03～、13:06～、15:43～	
遠野市立博物館 [62-2340] (9:00～17:00 最終入館 16:30)	✕	▶ 休館情報 12/29～1/3	
とおの物語の館 [62-7887] (9:00～17:00 最終入館 16:30)	◎	12/29～1/3	入場料割引
		1/1	甘酒の振舞い
		1/1～3	粗品プレゼント(先着 30名)
遠野ふるさと村 [64-2300] (9:00～16:00 最終入村 15:00)	◎	▶1/1～ 雪あそび 大人も子供も夢中になっちゃう	
		▶1/14 9:30～ 小正月行事(みずき飾り)	
伝承園 [62-8655] (9:00～17:00 最終入園 16:30)	◎	1/1～3	甘酒・桑茶振舞い
たかむろ水光園 [62-2834] (10:00～21:00 入浴最終受付 20:00)	◎	▶1/28「第25回遠野郷神楽共演会」	
遠野市後方支援資料館 [62-2119] (9:00～17:00)	◎	開館している時間帯は自由に見学できます。	

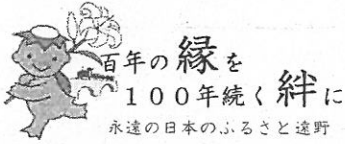


(市外遠野関連施設)

結いの市(イオンモール盛岡南) [019-631-3137] (1/1のみ 8:00~21:00) (1/1以外 9:00~21:00)	◎	1/1~3	初売り、福袋販売
---	---	-------	----------

※市内路線バスは 12/31~1/3 全線運休となります。観光施設へはタクシーをご利用ください。

担当	産業振興部商工観光課 (菊池) 電話 0198-62-2111 (内線 315)
----	---



遠野市記者発表資料
平成 29 年 12 月 21 日
消防本部 遠野消防署

平成30年遠野市消防出初式について

【発表の要旨】

平成 30 年遠野市消防出初式を 1 月 7 日（日）に実施します。

【発表の内容】

1 日 時

平成 30 年 1 月 7 日（日） 午前 9 時 30 分

2 会場・実施項目

会 場	実 施 項 目
〔第 1 会場〕市民センター大ホール	消防団行事 9 : 30
	式典・表彰式 10 : 00～11 : 20
〔第 2 会場〕市民センター前	観閲 11 : 30～11 : 40
〔第 3 会場〕本庁舎前 仲町通り	分列行進 11 : 40～12 : 00

3 主 催 遠野市・遠野市消防団・遠野市消防本部

4 協 賛 遠野市婦人消防協力隊

5 参加者（予定）

消防団員 550 人
消防職員 40 人
婦人消防協力隊 60 人

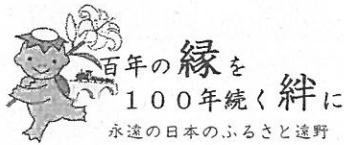
6 参加車両

消防団 58 台
消防本部 6 台

7 来賓案内

国会議員、県議会議員、市議会議員、防災関係機関、消防団協力事業所、
消防団顧問、元消防長・元署長、内助功労者、市部課長

担当	消防本部 遠野消防署（昆） 電話 0198-62-2111（内線 111）
----	--



遠野市記者発表資料
平成29年12月21日
市民センター生涯学習スポーツ課

平成30年成人式「はたちのつどい」について

【発表の要旨】

新成人が自ら企画立案及び式の進行を行う平成30年成人式「はたちのつどい」が1月7日（日）に開催されます。

【発表の内容】

1 趣 旨

新成人自らが運営に携わることで成人の日の意義を認識し、社会人となる自覚を高めるとともに、遠野の将来を担う新成人を激励・お祝いすることを目的とし実施するものです。

11月上旬から市内在住の新成人を中心に実行委員会を組織し、準備を進めています。

2 日 時

平成30年1月7日（日） 開場・受付 午後1時～
開式 午後2時～（午後4時終了予定）

3 場 所 遠野市民センター大ホール

4 対 象 者 新成人（平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの者） *参加予定者 約250名

5 式典の流れ

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 開会の言葉 | 副実行委員長 |
| ② 市民憲章朗唱 | 実行委員 |
| ③ 実行委員長挨拶 | 実行委員長 |
| ④ 祝辞 | 遠野市長、遠野市議会議長 |
| ⑤ 祝電披露 | 実行委員 |
| ⑥ 二十歳の抱負 | 実行委員(男・女各1名) |
| ⑦ 実行委員会企画による映像上映 | |
| ⑧ 感謝の言葉 | 成人者一同 |
| ⑨ 三本締め | 成人者一同 |
| ⑩ 閉式のことば | 副実行委員長 |
| ⑪ 記念撮影 | |

6 参 加 料 無料

7 主 催 成人式実行委員会（委員長 倉本 蛍士さん・土淵町）

8 共 催 遠野市、遠野市教育委員会

担当	市民センター 生涯学習スポーツ課 学び支援係 長門・佐々木 電 話 0198-62-4413（内線215・216）
----	---

又吉のまたまた夢

また
きち

平成30年

2月

24日

開場 / 午後5時30分

開演 / 午後6時30分

25日

開場 / 午前9時30分

開演 / 午前10時30分

開場 / 午後1時30分

開演 / 午後2時30分

遠野市民センター大ホール

二幕十二場

脚本・演出 水内 新悦
演出補 北湯口 悟
音楽監督 菅原 卓

入場料

一般 1,300円
(当日 1,500円)
高校生以下 600円
(当日 800円)

曲 / 斉藤美和、斉藤楽夢、斉藤夢羽

主催 / 遠野物語ファンタジー制作委員会 共催 / 遠野市、遠野市教育委員会、(一財) 遠野市教育文化振興財団

《プレイガイド》チケットぴあ、とぴあ、遠野風の丘、めがね橋直売所、みやもりホール、市民センター、各地区センター、遠野市教育文化振興財団

問合せ先 / ☎0198-62-6191 (遠野物語ファンタジー事務所・内線 225)

第43回市民の舞台遠野物語ファンタジー

またきち

又吉のまた夢

二幕十二場

あらすじ

「一生楽をして、暮らしたい。」と、遠野七観音の一つ、山谷観音に願掛けをし、観音様の使いだと言うトミに翻弄されながらも、少しずつ小銭を稼ぐ又吉。だが、一生楽をして暮らすのにはほど遠い。一攫千金を狙って、導かれるままに小友金山の洞穴に入って行くが、そこで見たものは……。そして又吉の運命は……。奇想天外なストーリーが、舞台の上を走り抜ける。

キャスト

又吉	櫻井 裕次 農業	ユキ	平山みちる 遠野北小学校1年生
観音様の声	高橋麻己子 フリーアナウンサー	ミヨ	奥寺眞柚菜 青笹保育園年長
トミ・キョウ	菊池真結美 パースカラーインストラクター	質屋の女将	菊池知恵子 遠野長寿の郷
ツヤ・ナツ	鈴木 美穂 遠野市社会福祉協議会	ウメ・イセ	木川田菜愛 JAいわて花巻
娘／黄金人	佐々木美月 介護職	悪い侍／金蔵	菊池 真悟 釜石高校2年生
女中／黄金人	浅沼 香緒 遠野西中学校2年生	刀磨	小林 立栄 遠野市議会議員
酒屋の主人の声	新田 光志 会社役員	玄葉	立花 智昭 酪農
ヨネ／黄金人	浅沼 未希 遠野高校1年生	城主／黄金人	小林裕太郎 遠野中学校2年生
植松	平山 仁美 上郷小学校教育支援員	勘助・権蔵	木川田光成 (株)SMC
アヤ／黄金人	中村綺羅々 遠野中学校1年生	カネ	細越澤史子 ふるさと観光ガイド
スミ	及川誌妃星 綾織小学校5年生	徳助	菅原 伴耕 農業
ヨシ	奥寺 結菜 青笹小学校3年生		

無料託児開設 (2月25日(日)のみ)

乳幼児から就学前のお子様を安心してお預けいただけます。
利用を希望される方は2月14日(水)までに連絡願います。

開設時間／午前9時～午後5時
場 所／遠野市民センター3階和室

〈前売券好評発売中〉

お求めはお近くのプレイガイドへどうぞ。

遠野雪あそび

in 遠野ふるさと村



馬そり

馬のひくソリに乗って
遠野の自然を体験。

そり遊び

大人も子供も
夢中になるスリル!

箱そり

トロッコ感覚?
昔使われていた
ソリ。



かんじき

雪の上でもスイスイと
歩いてどこまでも~



竹スキー

侮れません。
意外と滑るんです!



《開催日》平成30年1月1日(月)~3月25日(日)

遠野ふるさと村入村料 大人540円 子供320円

雪あそび体験料	日時	大人料金	小人料金
馬そり	1/14・21、2/10・24、3/25	1人500円	1人300円
箱そり	1/1~3/25	1台500円	
そり遊び		1人300円	
竹スキー		1人300円	
かんじき		入村料のみ	
小正月	1/14	入村料のみ	
冬休み親子工作体験 (陶芸、草木染、木工)	1/1~3/25	700円から	

小正月(1月14日開催)
今年の五穀豊穡を祈って
昔ながらの小正月行事を再現



※降雪状況により中止させていただく場合がございます。詳細につきましては、遠野ふるさと村へお問い合わせ下さい。

※雪あそび料金は、入村料とは別途料金となります。

遠野ふるさと村レストラン 冬のおすすめメニュー

第18回

遠野とべっこ祭り

平成29年 11月18日(土)・11月19日(日)
12月2日(土)・12月3日(日)

平成30年 1月27日(土)・1月28日(日)
2月10日(土)・2月11日(日)
2月24日(土)・2月25日(日)
3月3日(土)・3月4日(日)

鴨ひつまみ

岩手県産鴨を使った
ふるさと村自慢の
「ひつまみ」

650円(税込)



ラム陶板焼き定食

遠野名物ジンギスカンを
陶板焼きで。
わさび醤油で
召し上がれ。

1,680円(税込)



どんとはれプラン
2,800円(税込)

かつぱプラン
1,800円(税込)



- ✈️ いわて花巻空港、東北新幹線新花巻駅より車で1時間
- 🚆 JR釜石線新花巻駅より遠野駅まで約1時間、遠野駅より車で約20分
- 🚌 遠野駅より岩手県交通で25分、遠野ふるさと村バス停下車
- 🚗 釜石自動車道/宮守ICより30分、遠野ICより車で20分
- 🚗 東北自動車道/北上江釣子ICより70分

- ◎JR 遠野駅下車
- ◎タクシー 遠野駅～ふるさと村
小型…約3,200円 ジャンボ…約5,000円
- ◎バス 遠野駅～ふるさと村 大500円 小250円

遠野ふるさと村

☎028-0661 岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛5-89-1

Tel. 0198-64-2300 Fax. 0198-64-2827

HP <http://www.tono-furusato.jp/> e-mail mura@tonotv.com

◎営業時間/ 3月～10月 午前9時～午後5時(入村受付午後4時まで)
11月～2月 午前9時～午後4時(入村受付午後3時まで)

◎入村料/ 一般……………540円

小・中・高校生……………320円 ※団体は20名様以上で50円の割引

◎休村日/ 年中無休 ◎駐車場/ 無料(普通車100台・大型4台)

平成 29 年度

遠野学会

遠野地方の文化の研究などに携わっている団体、学校、個人などが取り組んでいる内容やその成果を発表します。

発表内容

1. 私達高校生に求められていること
- 次世代リーダー養成塾に参加して -
岩手県立遠野高等学校
2. 商のチカラで農を世界から守る -28年目の農商連携-
岩手県立遠野緑峰高等学校
3. 柳田國男が師と仰いだ伊能嘉矩
遠野文化研究センター運営委員 菊池健
4. 『遠野物語』の可能性を最大化する取り組み「to know」について
遠野市地域おこし協力隊 富川岳
5. 『上宮守伝』から
遠野文化研究センター運営委員 菅原伴耕

※発表の順番は未定です

参加
無料



平成 30 年 1 月 20 日 (土)
13:30 ~ 16:00

遠野市立図書館
視聴覚ホール



【主催】
遠野文化研究センター
遠野文化友の会

【申込み】 遠野文化研究センター 調査研究課・遠野文化友の会事務局

TEL : 0198-60-2800



遠野市立図書館トークイベント

「私と本との出会い」

日 時 平成 29 年 12 月 24 日 (日)
午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分
場 所 遠野市立図書館 視聴覚ホール
講 師 第 54 回文藝賞受賞者

若竹千佐子 氏

1954 年 岩手県遠野市上郷町出身
岩手大学教育学部卒業
現在 主婦
55 歳から小説講座に通いはじめ、8 年の時を経て
受賞作『おらおらでひとりいぐも』を執筆

定 員 50 名

参加申込み問い合わせ先 遠野市立図書館

電 話 0198-62-2340

F A X 0198-62-5758

